

導管網解析用データの自動収集及びデータ作成による精度向上・圧力監視の高度化とスマート保安の促進
(関係法令：ガス事業法)

【秦野瓦斯株式会社・筑紫ガス株式会社】

- 導管網解析の精度向上のため、クラウドシステムで圧力・流量データを自動収集を行う。
- 自動出力機能を開発し、従来の人手作業を省力化、リアルタイム圧力監視を実現する。
- スマート保安技術を活用し、都市ガス事業の安定供給と保安レベル向上を図る。

現状

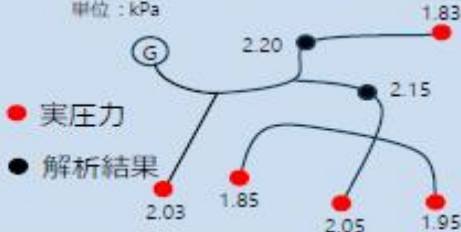
- 手作業でのデータ収集や集計に時間を要し、かつ解析精度にもばらつきが生じていた。

課題やニーズ

- 自動で圧力・流量データを取得し、高精度な圧力監視・解析を行える仕組みが必要。

期待される効果

- 解析精度・圧力監視の高度化を通じて、供給安定性・保安レベルの向上を実現。

	圧力・流量データ取得	解析データ作成	実圧力ポイント	解析結果
導入後	スマートメーターにて自動取得 	クラウドシステムにて自動作成 	多数ポイントにて実圧力を把握 単位：kPa  ● 実圧力 ● 解析結果	リアルタイムの状況を把握 実圧力ポイント数増による精度Up 
導入前	人手にて回収 	人手にてデータの確認・作成 	手間と労力により、実圧力のポイントが限定的 単位：kPa  ● 実圧力 ● 解析結果	年1回測定分のみ実圧力値を把握 実圧力ポイント少のため精度バラつき 